

## 特集

# 協同総合研究所25周年記念号作成にあたり

協同の発見誌289号(2016年12月号)の『協同総合研究所25周年①論考編—協同と労働の過去・現在・未来』に続き、本号では②資料編として、研究所の未来を描くために、協同総研25年間の学びや出来事を資料や集会から振り返ることを主目的に記念誌を作成しました。

特集内容の中心としては、12月3日に開催した「協同総合研究所25周年記念集会」(92名参加、日本労協連会議室開催)になり、そこで話した内容をもとに掲載しています。記念集会のなかの特に「記念鼎談『自然観・社会観・人間観に新しい地平を築く』」では、1960年代～70年代に共同体を訪ね、地域で活動をしている加藤彰彦さん、丹羽健司さんの経験を含めて、新しい共同体を都市や農山村地域でつくるためのあり方を存分に語っていただきました。また鼎談コメントの石田正昭さんからは、協同組合の視点から「働くこと」をベースに、立場を超えて語り合える公共圏づくりの提案は、協同労働や協同組合に引き付けて考える意味で、大変貴重な意見であったと思います。

また記念集会後、協同総研に関わっている14名の方々から協同総研25年を迎えたコメントをご寄稿いただきました。研究者の視点、事務局の視点、実践者の視点、若手の視点から、25年の歴史や思い出、今後の研究所の課題や展望を書いていただきました。編集した者として、研究所の25年間は、多くの方とともに歩んできたことを感じました。

特集外にはなりますが、協同の広場で「インターンシップ in 協同組合」を掲載しています。大学生が「協同すること」と出会う場や考えるきっかけをつくっていくことは、研究所が「協同」の研究・交流のプラットフォームになり続けることと合致するものであり、本号特集とともに紹介したいと考え、掲載することにしました。タイトなスケジュールのなか、ご寄稿いただいた片畑智子さんには感謝申し上げます。

289号と本号を1つのものとして見ていただき、協同総研の25年の歩みとともに、今後の協同総研の展望、もっと広く言えば「協同」の研究・実践の問いと意味を深める節目の号として会員みなさんと共有し、研究所がさらなる飛躍と変革をとげる契機として、本号を位置づけたいと考えております。

(協同総合研究所 事務局長 相良孝雄)



創立総会写真



10周年記念集会写真



25周年記念集会写真

2016年12月3日

発信文書

## 協同総合研究所 25周年記念集会 タイムテーブル

一般社団法人 協同総合研究所

**2016年12月3日(土)**

**13:00~17:00**

**第1部 協同総研 25周年記念集会**

司会 相良 孝雄

13:00~13:20 25年間の協同総研の軌跡(映像資料)

13:20~13:30 開会あいさつ 中川 雄一郎 副理事長より

13:30~13:50 「協同総合研究所 25年の歴史から」岡安 喜三郎 理事長

13:50~14:00 休憩

14:00~15:20 記念鼎談

「自然観・社会観・人間観に新しい地平を築く」

加藤 彰彦(沖縄大学名誉教授)×丹羽 健司(山里考房主宰)×永戸 祐三(日本労協連理事長)

コメント 石田 正昭(日本協同組合学会会長)

15:20~15:30 休憩

15:30~16:50 「協同労働の協同組合の未来展望」

◇問題提起(3座長から)

「協同組合の源流を問う(岡安喜三郎座長)」「協同労働という働き方(島村博座長)」

「よい仕事と社会連帯経営」(永戸祐三座長)

コメント 労協連古村専務より

質疑応答

16:50~17:00 まとめ 岡村信秀副理事長から

記念撮影

**17:00~20:00(フリースペースで)**

**第2部 シンポジオン**

美味しいものを食べ、お酒や飲みながら、語り合いたいと思います

皆さん、お疲れ様でした。

## 写真で見る協同総研25周年記念集会の様子

### 第1部 協同総研25周年記念集会



中川 雄一郎 副理事長  
開会あいさつ



岡安 喜三郎 理事長  
協同総合研究所  
25年の歴史から報告

### 〈記念鼎談〉



〈3研究会報告〉



協同組合の源流を問う研究会  
(岡安 喜三郎 座長)



協同労働という働き方研究会  
(島村 博 座長)



よい仕事と社会連帯経営研究会  
(永戸 祐三 座長)



労協連古村専務コメント



岡村信秀副理事長  
閉会あいさつ

25周年記念集会所会  
(相良孝雄)



## 第2部 シンポジオン



かんぱい!!



〈交流の場、  
思い出を語る場に〉





一本締め



シンポジオン進行  
(上平泰博)